

授業概要

長い歴史をもつ図書館が、どのように発生し、どのような経緯で今日の図書館となってきたのか。この授業では、外国や日本の図書館の歴史を学ぶと共に、記録媒体としてのメディアについても学んでいく。

そして図書館の歴史から、図書館の機能や役割を社会的な背景と共に考察できる力を身に付けることを目的とする。

授業計画

第1回	ガイダンス
第2回	ことばと文字の発明
第3回	メディアの多様化①世界
第4回	メディアの多様化②日本
第5回	古代の図書館①ギリシャ
第6回	古代の図書館②ローマ
第7回	中世の図書館①宗教と図書館
第8回	中世の図書館②大学と図書館
第9回	近世の図書館①ルネッサンス期の図書館
第10回	近世の図書館②16世紀の図書館
第11回	近代の図書館
第12回	日本の図書館史①古代
第13回	日本の図書館史②中世
第14回	日本の図書館史③江戸の文庫
第15回	日本の図書館史③近代図書館の誕生
第16回	筆記試験

到達目標

それぞれの時代の社会的背景と共に、図書館が果たしてきた役割や機能を理解し、自身の意見を述べることができるようになることを目指す。

履修上の注意

遅刻は授業開始 30 分まで、それ以降は欠席と見做す。

予習・復習

それぞれの時代の社会的背景を理解していることが重要であるため、西洋史や日本史関連の書籍を読むなど、歴史の知識を深めておく。

授業の中で紹介する資料について図書館やインターネット等を活用しながら確認し、復習を行う。

評価方法

- 定期試験 80%
- レポート 10%
- 受講態度 10%

テキスト

資料を配布するため、テキストの購入はない。